

第 1 回委員会意見概要と対応

No.	意見概要	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> ・本公園に付随する機能を体系的に整理した上で、検討内容を明確にする必要がある。 ・ハードだけではなく運営・展示などのソフトを含めて、何をどこまで検討するのか全体の枠組みを整理する必要がある。 ・整備には、高松塚周辺地区に求められる機能が前提となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の枠組みと検討対象事項を整理しました。→資料 2
2	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風土の保全のために整備されてきた経緯があり、それを軸に置いた検討が必要 ・資料中では、時代ごとの付加的な機能が混在して、整備当初からの核となる機能がぼやけてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高松塚周辺地区の整備経緯」に、整備当初の経緯、地区の位置づけ、計画課題等を整理しました。→資料 3 (P10～13) ・「再整備方針 記載内容(案)」は、基本計画で示された機能の維持を前提条件として位置づけたうえで、整備当初には想定していなかった課題を踏まえて検討を行いました。→資料 4 (P1～10)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本公園は施設整備を最小限に抑えたデザインが魅力。社会情勢を踏まえた課題に対して、すぐハード面の整備に反映する必要はない。 ・ハード面の整備については基本的に慎重に検討していく姿勢が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘頂いたような内容を、整備当初の「計画課題(S52)」として把握しました。→資料 3 (P12) ・「再整備にあたってのポイント」として、「地域景観の保全」に係る考え方を記載しました。→資料 4 (P2) ・「再整備方針 記載内容(案)」に、「適正な施設規模や配置、建築意匠について検討を行う」ことを明記しました。→資料 4 (P8)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・明日香法が制定され、40 年にわたり守られ整備されてきた地域をどう使っていくかが論点になる。 ・登録を目指している世界遺産の構成資産を合わせてどう説明していくかについても検討の前提として留意した方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「明日香村における歴史的風土保存との取組み」に、これまでの歴史的風土保全の経緯、及び近年の動向としてまるごと博物館地域計画、世界遺産登録の取組みを示し、検討の前提としました。→資料 3 (P1～4)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁や明日香村にも関わりがあり、整備・運営等様々な局面で連携を持続していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備にあたってのポイント」として、地域の取組みとの連携や文化庁との連携を記載しました。→資料 4 (P2) ・「再整備方針 記載内容(案)」の視点①に、周辺地域との連携、文化庁との連携を記載しました。→資料 4 (P6)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような来園者層を想定して整備するのか明らかにしておいた方が良い。 ・オーバーツーリズムを避けるための検討も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の取組みにあたって留意すべき事項」として、来園者の想定、オーバーツーリズムへの対応を記載しました。→資料 4 (P10)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応のためのツールが普及し、コンテンツの内容が重要視されている。海外の方々が興味を持っている内容に応えられるコンテンツがゲートウェイにあることが重要。ガイド機能の方針も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備方針 記載内容(案)」の視点①に、「最新のデジタル技術や多様性に対応したコンテンツの導入」、「外国人旅行者を含め誰にでも分かり易い展示解説」を記載しました。→資料 4 (P5)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目線で検討を進めることが原則。 ・明日香全体を見渡して、来園者がどのような体験を求めている、そのためには何が必要であるか検討していく必要がある。 ・案内機能という観点からは、地域全体の繋がりをどのように見せるかが重要。 ・理解の促進という観点からは、地域の国宝等をどのように見せて魅力を感じてもらうかが重要。 ・休憩機能という観点からは、人と人の繋がりを生む交流の視点が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案内機能、展示による理解の促進、休憩機能については、「再整備方針 記載内容(案)」の各事項に頂いたご意見の趣旨を反映しました。→資料 4 (P5～7)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥駅から比較的近い史跡であり、飛鳥地域のゲートウェイとしての役割を果たすのではないかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備方針 記載内容(案)」の視点①として「地域との連携のもと飛鳥周遊のゲートウェイとして機能向上を図る」ことを記載しました。→資料 4 (P5～7)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートウェイとしての機能を発揮するためには、鉄道も含めた公共交通機関でのアクセス性の高さ、いつでも利用できる公共交通機関の利便性の高さが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の取組みにあたって留意すべき事項」として、「公共交通機関の動向、地域モビリティ・電動自転車普及の状況等を踏まえてそれらと連携した取り組みを計画に反映する」ことを記載しました。→資料 4 (P10)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画だけでなく古墳をどう見せていくかについても考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備方針 記載内容(案)」の視点①に、「県道西側エリア～県道東側エリア～飛鳥周遊へのいざないを促進する展示ストーリーづくり」を、また視点②に両エリアのわかりやすい動線の確保、飛鳥の眺望や里山景観の魅力回復、古墳の見通しの確保等を記載しました。→資料 4 (P5、P8)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性向上のために wi-fi の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備方針 記載内容(案)」の視点②として、「案内誘導機能の充実」を上げ、wi-fi の整備については地域の取組みと連携して行うことを記載しました。→資料 4 (P8)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・電動自転車等の進展により観光客の移動範囲が広がることを想定した検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の取組みにあたって留意すべき事項」として、「公共交通機関の動向、地域モビリティ・電動自転車普及の状況等を踏まえてそれらと連携した取り組みを計画に反映する」ことを記載しました。→資料 4 (P10)
14	<ul style="list-style-type: none"> ・高品質な情報を提供するという観点から、地域としてプロのガイド育成や、案内音声の整備等に取り組むべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の取組みにあたって留意すべき事項」として「管理運営のありかた」を挙げ、「ガイドのあり方については、関連する取り組みとの連携を図りながら、具体的な展示計画や運営計画に反映する」ことを記載しました。→資料 4 (P10)
15	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産に登録された場合、利用者属性が変化する可能性がある。 ・外国人観光客は、持っている前提知識が異なるため、それに応じた説明が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備にあたってのポイント」として、「世界遺産登録による来訪者の増加や質の変化への対応」等を記載しました。→資料 4 (P2) ・「再整備方針 記載内容(案)」の視点①に、「外国人旅行者を含め誰にでも分かり易い案内・展示」を記載しました。→資料 4 (P5)
16	<ul style="list-style-type: none"> ・低炭素化が世界の潮流であるため、インバウンドの取組みを進める場合は特に配慮した整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の取組みにあたって留意すべき事項」に、「低炭素化社会を目指すなかで、飛鳥地域では外国人力客の利用促進をどうとらえるかといった検討も必要」であることを記載しました。→資料 4 (P10)
17	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪万博に来訪する外国人観光客を取り込むといったようなタイムスケジュール戦略も重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の取組みにあたって留意すべき事項」に、「大型イベント開催に合わせて来訪する外国人観光客を取り込むといったタイムスケジュール戦略についても配慮が必要」であることを記載しました。→資料 4 (P10)